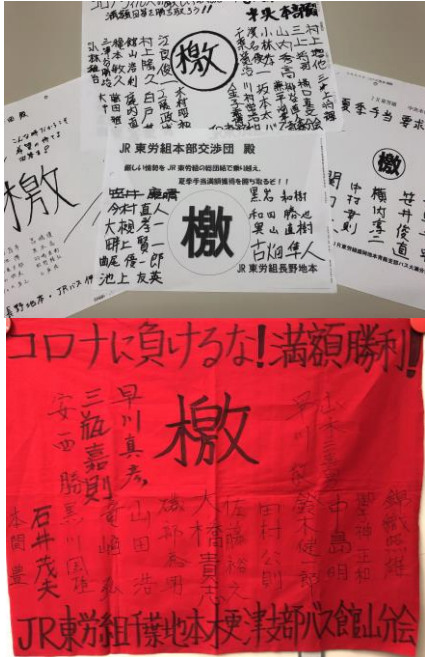




バス開申  
第11号

## 2020年度夏季手当等に関する申し入れ 第1回交渉（趣旨説明）を行う！

バス東北の仲間からも  
檄が寄せられています！



- ・2019年度は、経営ビジョン「アクションⅣ」のもと、様々な変化を見据え対応すべく各種施策について、向き合い取り組んできた。
- ・台風対応では、要員不足の課題もある中、列車代行輸送を担い、公共交通機関の責務である安全な輸送を完遂した。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い感染不安がある中で、社会インフラとしての使命を全うすべく、健康管理に努め安全・安定輸送の完遂に向け、現在も取り組んでいる。
- ・感染防止には、組合員・社員の奮闘だけではなく家族の協力もある。
- ・家族の休業で世帯収入が減る一方、休校などの影響で食費や光熱費が増加している。生活給となっていた休日勤務は無くなり、過去に勤務した休日出勤さえも代休に変更され収入が減少し、住宅ローンなどの支払いや生活費に対する不安を抱えている社員は少なくない。
- ・この難局を労使が一丸となって乗り越えるためには、組合員のモチベーションを上げていかなければならない。
- ・営業利益は対前年比で言えば5億7,800万円のマイナスにはなるものの、期末決算は2億600万円を計上している。
- ・来年に延期されたオリ・パラ輸送など、新型コロナウイルス収束後、さらなる貢献への期待を示すために満額の回答を求める。
- ・全ての社員は依然として新型コロナウイルスの影響下のもと、感染への恐怖など、あらゆる不安を募らせながらも業務を遂行していることを共通認識とすべき。

### 組合員から寄せられた声も訴えてきました！

- 「外出自粛要請がある中、県を越えて感染におびえながら公共交通機関の使命を果たすため努力してきた」
- 「5月6月分の給料は激減する。夏季手当で補うしかない」「見えない恐怖の中で仕事をしている働きを認めてほしい」
- 「業務量が変わらない車両系の苦勞に形で示してほしい」「神経をすり減らしながら職務を果たしている」

#### ◆現状について会社からの特徴点

- ・新型コロナウイルス感染症は予期しなかったものである。組合員には感染防止の対応について感謝している。社長メッセージの中でも、需要は少なくなっているが、固定給は出していくと発信している。今月から少しずつ運行も増えている。共通認識と言われたが会社も同じ気持ちでいる。
- ・今日現在、社員の感染はない。社員の努力に感謝している。
- ・東京支店が完成したが、職場改善もしてきた。運行管理システムも導入し、社員の健康管理もこれまでよりも質の高い管理が出来ている。
- ・収入が上がらない中、固定給がある。生活が大変なのは理解しているが、経営状況は厳しい。
- ・緊急事態宣言は解除になったが、東京では感染者数が増えている。気を緩めずに感染防止に努めたい。
- ・2月までの収入状況はある程度順調だった。台風もあるが、3月の新型コロナウイルスの影響は大きい。
- ・厳しい中、公共交通機関の使命を果たしていただいているのは理解している。
- ・社員を一番に考えている。雇用を守ることを第一に感染防止対策を行っていきたい。

**収支に反映されない努力も共通認識に高め議論していくべきだ！**

**組合員の声を基に、要求満額獲得に向けて  
鋭意団体交渉を行っていきます！**